

感染状況・医療提供体制の分析(6月29日時点)

【岡山県専門家有志】
(東京都統括コメント参照)

詳細



区分	モニタリング項目 *①～③は過去1週間合計	前回の数値 (6月22日時点)	現在の数値 (6月22日時点)	前回との比較	分析コメント	
感染状況	①新規陽性者数	総数 (人口10万人当たり)	1302人 (69.4人)	1025人 (54.6人)	→	感染状況コメント レベル3. 感染縮小の兆候があるが警戒が必要
		60歳以上 (総数に占める割合)	141人 (11%)	77人 (8%)	→	
	②圏域別 新規陽性者数	県南東部	632人	601人	→	新規陽性者は <u>人口10万人当たり55人</u> と減少も、減少傾向は緩徐。年代によっては患者数が増加している。クラスターも散発的に発生。 全国的には新規陽性者数は上昇傾向に転じた。近隣府県も増加に転じており、ワクチン3回目接種で獲得した免疫の減少、連休や夏休みなど国内移動の増加など陽性者再増加に転じる要因も多く、感染状況を注視する必要がある。メリハリのある感染対策の継続を。
		県南西部	447人	306人	→	
		高梁・新見	19人	9人	→	
		真庭	17人	11人	→	
	市中潜在 感染	③新規陽性者 における 接触歴不明者	数	362人 (調査中を除く)	338人 (調査中を除く)	
割合 (③/①)			34.9% (調査中を除く)	43.4% (調査中を除く)	→	
医療提供体制	④入院患者数 (確保病床における入院割合)	53人 (10%)	50人 (9%)	→	医療提供体制コメント レベル1. 通常の体制で対応可能と思われる	
	⑤宿泊療養者数	54人	43人	→	感染者数減少に伴い、入院患者、宿泊・自宅療養者数は減少。通常医療が提供可能な体制が維持できている。	
	⑥自宅療養者数	1338人	1114人	→		
	⑦重症者数	1人	1人	→		